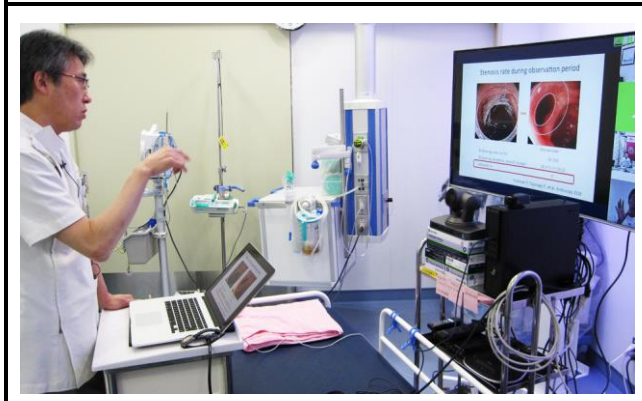


<p>【イベント名】 第2回 日本・メキシコ内視鏡カンファレンス</p>	<p>【概要】 神戸大学の豊永教授に内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）についてレクチャーしていただいた。講演では以下の事項についての説明があった。1. 従来のEMRの限界および問題点。 2. 下部消化管のESDの適応。3. ESD後の狭窄のリスク。4. 痔核を伴う直腸腫瘍に対するESDの可能性と安全性。5. 回盲弁にかかる病変に対するESDの可能性と安全性。 6. 臨床例に対する戦略とアドバイス。</p>
<p>【期日】 2016.07.01</p>	
<p>【会場】 メキシコ国立自治大学（メキシコ）、 シャープマサトラン病院（メキシコ）、 神戸大学（日本）、 九州大学病院（日本）</p>	

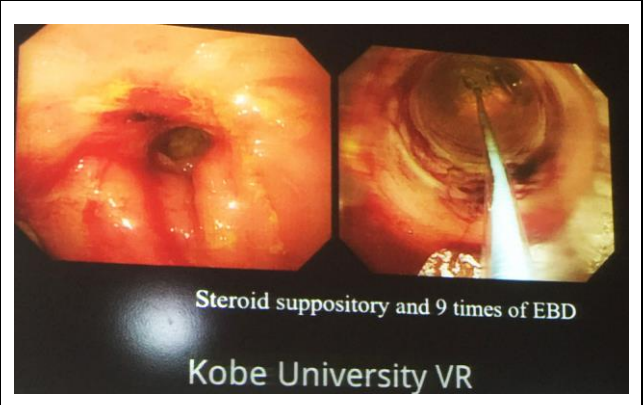
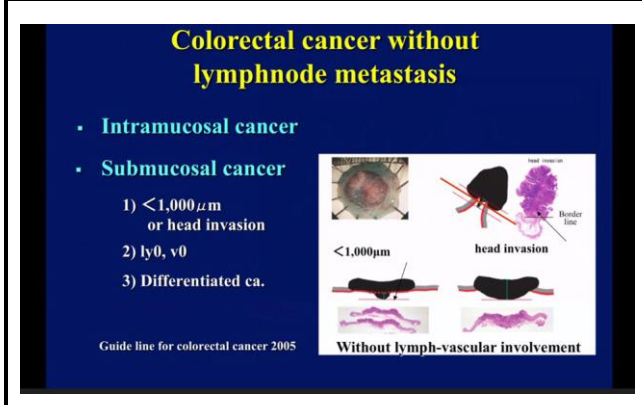


神戸大学の内視鏡室から発表を行うDr. 豊永。

神戸大学からコメントをするDr. 豊永（左）。

撮影場所：神戸大学

撮影場所：九州大学病院



神戸大学から提示されたスライド。

神戸大学から提示された内視鏡画像。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：メキシコ国立自治大学



カンファレンスは明るい雰囲気終了した。

メキシコでの参加者の記念撮影。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：メキシコ国立自治大学